

# ESS FileGate for Business

～分離ネットワーク環境での安全なファイルの受け渡しを実現～

## 稼働環境

### ESS FileGate サーバー稼働要件

- 対応する仮想環境 VMWare vSphere(ESXi)  
Microsoft Hyper-V
- ハードウェア (仮想マシン) 要件 CPU: 2コア以上のCPU  
RAM: 4GB 以上  
HDD: 160GB以上

### クライアント稼働要件

- ブラウザ Internet Explorer 11  
Mozilla Firefox  
※Firefoxについては最新バージョンでご利用ください
- 無害化処理端末OS Microsoft Windows 7(SP1), 8.1, 10  
Microsoft Windows Server 2008 R2, 2012 R2  
Red Hat Enterprise Linux 6,7  
CentOS6,7  
Ubuntu 14.04 LTS,16.04 LTS

### その他

- ・動作環境の詳細については、弊社までお問い合わせください。
- ・本ソフトウェアは改良のため事前に告知することなくバージョンアップすることがあります。
- ・本ソフトウェアに使用されている一部の技術は特許出願中です。
- ・ESS FileGateは、エンカレッジ・テクノロジー株式会社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft, Windows, Internet Explorer, Active DirectoryおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Trend Micro, Deep Securityは、トレンドマイクロ株式会社の商標または登録商標です。
- ・その他、記載の商品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

〈お問い合わせは〉

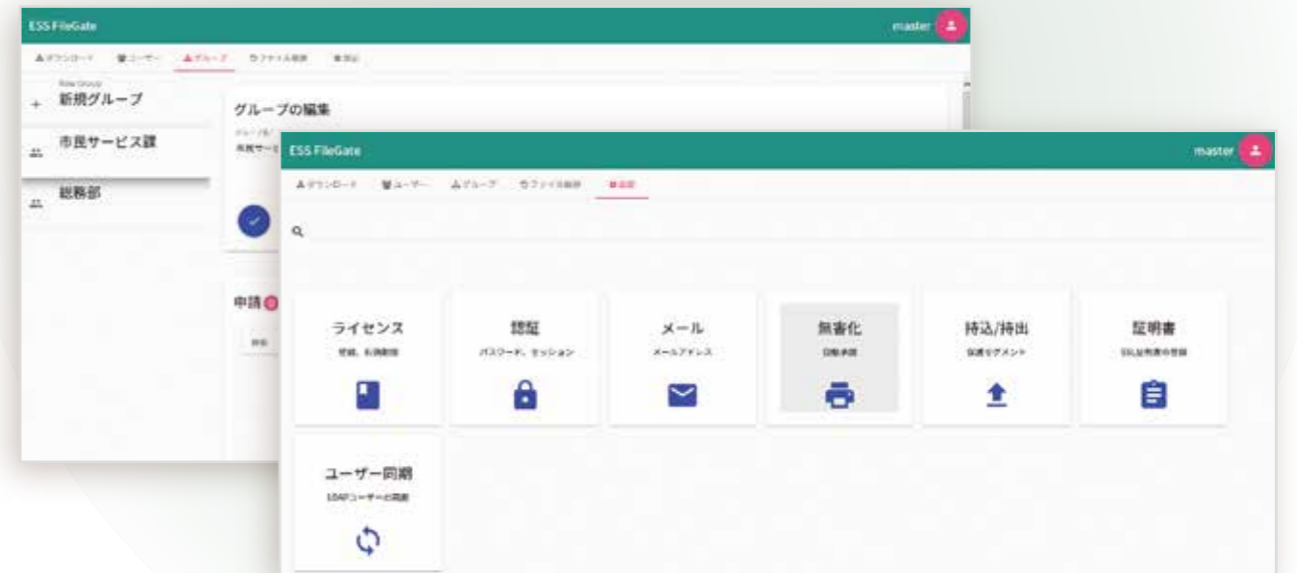
〈開発・販売元〉

**エンカレッジ・テクノロジー株式会社**

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町 7F  
TEL: 03-5623-2622 FAX: 03-3660-5822 URL: <http://www.et-x.jp>

Copyright © Encourage Technologies Co., Ltd. All Rights Reserved. 記載の会社名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

EFGB-BR-2018-02-01

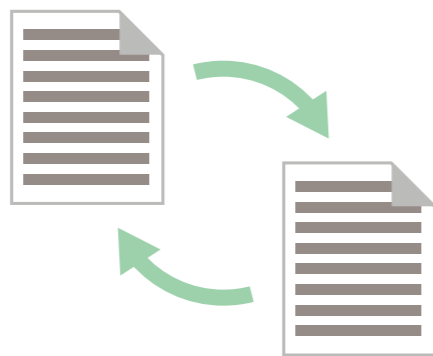


# 分離ネットワーク環境での安全なファイルの受け渡しを実現 *ESS FileGate for Business*

## 分離ネットワーク環境における課題

標的型攻撃などサイバー攻撃や内部者の不正な持ち出しによる情報漏えいリスクに対する抜本的対策として、インターネット接続環境と重要情報が保管されている業務ネットワークを分離・分割する「ネットワーク分離」が注目されています。

ネットワークを分離することで、ネットワーク間で安全にファイルの受け渡しを行う方法を確立する必要性が生じます。



## 可搬媒体による受け渡しは危険です

もっとも容易な方法としてUSBメモリ等可搬媒体を使用する方法がありますが、可搬媒体による受け渡しには様々なリスクがあり危険です。

- × 媒体自体の紛失リスクが高い
- × 受け渡したファイルの履歴が保管されない
- × 上長による事前の承認などの仕組みを設けられない
- × 私物媒体の使用による不正な持ち込み／持ち出しの可能性が排除できない



## ESS FileGate for Business の効果

### 安全なファイルの受け渡しを実現

ESS FileGate for Businessは、分離されたネットワーク環境において、ネットワーク間での安全なファイルの受け渡しを実現します。

- USBによる受け渡しリスクを排除
- 履歴管理、上長承認などの付加価値
- 不正なファイルの持ち込みに加え、不正なファイルの持ち出し制御(情報漏えい対策)にも有効

## ESS FileGate for Business の仕組みと特長



### ■ 可搬媒体よりも安全なファイルの受け渡し

インターネット接続ネットワークと業務ネットワークの中間サーバー※として配置することで、紛失リスクの高いUSBメモリなどの可搬媒体を使用する必要がありません。



### ■ インターネット接続ネットワークへのファイルの持ち出しにも対応します

インターネット接続ネットワークからのファイルの持ち込み/無害化だけでなく、インターネット接続ネットワークへのファイルの持ち出しにも対応。内部者による意図しない情報の持ち出しや情報漏えい対策としてご活用いただけます。



### ■ ウィルスチェックによる安全性の確保

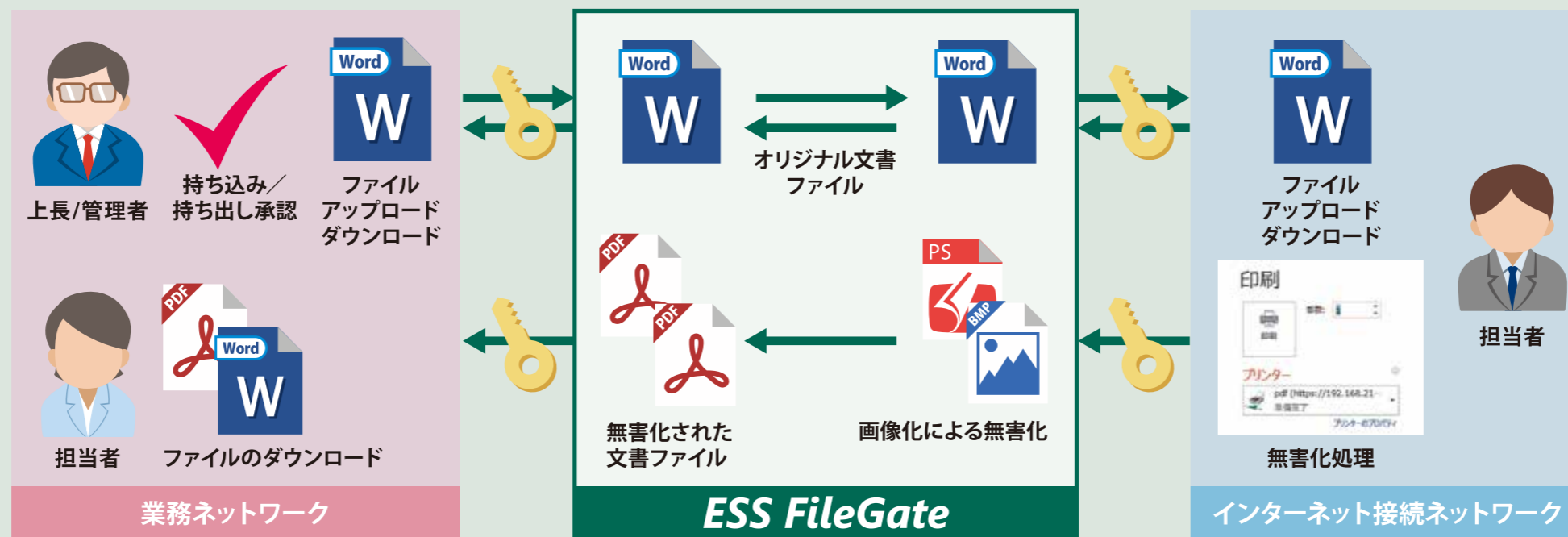
EFGにアップされたファイルに対しアンチウイルス製品によるウイルスチェックを実行し、安全性が確認できたファイルのみ持ち込み可能となるよう連携が可能。※Trend Micro Deep Securityライセンスが必要です。

### ■ 持ち込み／持ち出しの際の承認ワークフロー機能同梱



ファイルの持ち込み／持ち出しの際に上長承認のプロセスを徹底するワークフロー機能が同梱されます。(設定によりON/OFF可)

## 【ESS FileGate の仕組み】



### ■ 導入・管理のしやすさ



仮想アプライアンス形式での提供のため、導入が簡単です。また、軽量OSを採用しているため、OSのパッチ適用やアップデートなどのメンテナンスの必要がほとんどありません。

### ■ ユーザー／グループの管理



ユーザー情報は、独自に管理する方法に加え、Active Directoryとの連携が可能です。グループごとに承認者を指定するなど、部署単位での管理が可能です。

### ■ 受け渡しの際に無害化処理する機能も標準装備



ファイルを持ち込む際、画像化処理をすることで、マルウェア感染の恐れがない形式に変換(ファイル無害化)して持ち込む機能も標準で搭載しています。

※ 中間サーバーを設置しても、業務ネットワークから直接インターネットに接続できたり、インターネット接続環境から直接事務ネットワークにアクセスすることはできないため、ネットワーク分離環境は維持された状態となります。